

## 岐阜県立池田高等学校

学校長 松井 千昭  
学校住所 揖斐郡池田町六之井242-1 電話 0585-45-7755

- 1 会議の名称 岐阜県立池田高等学校学校運営協議会 (第2回)
- 2 会議の構成 委員 飯田 静世 主婦 (子育てボランティア団体代表)  
小林 月子 社会福祉法人 新生会サンビレッジ国際医療福祉専門学校長  
西川 菊雄 池田町上田区長  
野原 恵子 元池田高等学校育友会役員  
学校側 松井 千昭 校長  
楠井 徳之 教頭  
小野 信幸 事務長  
桐山 竹司 教務主任  
福島 秀一 生徒指導主事  
水上 尊雄 進路指導部長
- 3 会議の目的 学校運営等について地域住民から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 令和2年1月30日(木) 13:30~15:30  
令和元年度 岐阜県立池田高等学校活性化協議会を兼ねて開催した。
- 5 会議の概要

テーマ: 「地域と連携し活力ある池田高校にするための取組について」

意見1: 学校全体でボランティア活動に積極的に参加していただけるようになった。以前は、高校までボランティアをお願いに来ていたが、現在は行政の町づくり戦略課から依頼の連絡をするだけでボランティア活動に参加していただける形になっている。池田高校の生徒を大切に育てる役割を地域が果たせるとよい。

意見2: 地域での様々な取組に成果が現れており、素晴らしいことである。進路に関しては、女子生徒の割合が増加したことで看護・福祉を希望する生徒が増えていると伺った。地域を活性化するためにも地域医療は重要で、その中でも看護は大切であるが、リハビリや介護も欠かせない。自己決定ができる生徒を育成することが大切であり、そのような人材を育成する学校として地域を支えていきたい。

意見3: 資料を拝見すると池田町や神戸町と比べて大野町へのボランティア活動の参加が見当たらないので、是非参加していただけるとありがたい。それが池田高校のPRに繋がるのではないかと。

意見4: 高校の先生方が大変熱心に学校や生徒達をよくしようと努力していることが分かった。生徒の発表を拝見し、様々な人達との出会いを通して、学校や部活動では学べないことを得ていることが素晴らしいと感じた。また、生徒たちが人前で自分の意見を述べ、まとめ、話すことは非常によい体験だと思う。町のPR誌の編集を生徒が担当していると聞いたが、自分の意見を述べたり、まとめたりすることは勇気のいる大変な作業だったと推測する。生徒にそういった活躍の場があることは素晴らしいと感じ、年齢を越えて繋がっていくことが大切なので、これからも続けられるとよい。

意見5: 育友会で色々な学校行事に参加させていただき、我々が高校生の際は保護者が学校で活躍する機会は少なかったが、現在は版画大会の豚汁サービスや文化祭のバザー出店など、学校全体の盛り上がりにより寄与できてありがたいと感じている。昔の高校は勉強するだけであつたが、保護者が子どもと共に学校全

体で盛り上がる行事を設定していただけることはよい時代になったという印象を受ける。生徒数が減っても、生徒の活力につながるのでこのような行事は是非継続していただきたい。

## 6 会議のまとめ

学校が活性化することは、生徒自身が活性していくことを意味する。各生徒が様々な体験を通して、達成感や成就感を味わい、自信をもって活躍の場を広げていくことになる。そのような場を学校として、地域として是非生徒たちに与えていただきたいと思う。皆様からご意見をいただき、地域全体として発展していきたいと考えている。年度末に向けて様々な行事があるので是非ご支援をお願いしたい。